

## 被爆体験講話を終えて

僕は、長崎で生まれ育ったわけでも、実際に戦争を体験したわけでもない。

しかし、原子爆弾が日本に落とされたことや、戦争があったという事実は、日本人として知っておかねばならないことだと強く感じた。

実際に体験をされた方の話にはとてもリアリティがあり、当時の状況を想像するだけでも、戦争のすさまじさ、そして恐ろしさが伝わってきた。

今、自分たちがあたりまえの日常を過ごせていることに感謝し、今回学んだことを、平和について考えていくことへとつなげていきたい。

Y.K.

私は、「心」で聞くことを大切にしながら、講話をきいた。

自分がいかに原爆を甘く見ていたかが、身にしみてわかった。

戦争が終わった＝平和ではないことも知った。

実際に戦争、原爆を体験した人の話を聞くことで、いろんな話を知りすぎて、一度では受けとめきれないくらいだった。ただ聞いたことを心で受けとめるだけではなく、自分が今度伝えるということも考えなければいけないと思った。

M.N.

